

WEEKLY REPORT No.1304

<本年度会長方針>

もっと知ってもらおう 我々の活動を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 田崎 雅三 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
幹事 丹下 富博 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1529回例会

ガバナー補佐訪問

平成27年7月30日(木)

於 名古屋東急ホテル

会員 57名

出席計算数

51名中40名出席

出席率 78・43%

前々回出席率 92・45%

例会プログラム

★前田広報委員長

「ロータリーの友」掲載報告

(東白本大震災マリンテニサイトレポート)

★ガバナー補佐訪問卓話

ロータリーソング

「大須ロータリーソング」

指揮者 桑山 光俊

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

会員組織委員会ゲスト

WHP株式会社

代表取締役 中村 充さん

ガバナー補佐 近藤 雅夫さん

地区スタッフ 加藤 定江さん

分区副幹事 浦野 廣高さん

ピクチャー

瀬戸RC 山田 拓さん

ニコボックス

★ガバナー補佐 近藤 雅夫さん

地区スタッフ 加藤 定江さん

分区副幹事 浦野 廣高さん

よりの頂戴いたしました。ありがとうございました。

お世話になります。

瀬戸RC 山田 拓さん

近藤ガバナー補佐、加藤地区スタッフ、浦野分区副幹事をお迎えして。近藤ガバナー補佐、今日は卓話を賜ります。ご指導の程、宜しくお願い致します。

田崎 雅三

酒井 修 丹下 富博

林 順治 東滝 卓也

岡部 快圓 横井 衛

高木 政義 杉浦 令淑

小野 定男 近藤宏一郎

大原 敏正 大澤 伸悟

浦野さん、大須RCへようこそ！

川畑 博敬

中村 充さん、ようこそ。

田崎 雅三

中村 充さん、ようこそ。入会を心よりお待ちしております。

武藤恵美子

息子が無事にブラジルに着きました。ありがとうございます。

渡辺 観永

柴岡さん、昨日は大変お世話になりました。

春日井和良

皆さんこんにちは。本日は、近藤ガバナー補佐、加藤地区スタッフ、浦野分区副幹事をお迎えしております。近藤ガバナー補佐には、後程卓話を賜ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

今日は日本と海外の広告の規制の違いに触れてみたいと思います。

「Audiさん、2006年南アフリカカー・オブ・ザ・イヤを受賞おめでとうございます！ワールドカー・オブ・ザ・イヤを受賞のBMWより」とメッセージを入れた広告を公表。
左 「BMWさん、2006年ワールドカー・オブ・ザ・イヤを受賞おめでとうございます！ル・マン6連覇のAudiより」というもの。(毎年フランスで開催されている24時間耐久レースでの実績をアピール)



規制の一つに比較広告に大きな違いがあります。日本では、景品表示法第4条第1項は、自己の供給する商品・サービスの内容や取引条件について、競争事業者のものよりも、著しく優良又は有利であること一般消費者に誤認される表示などを不当表示として規制する、としています。各媒体社には審査担当者がいいて、これに触れるか否かを各社にて判断し、掲載、放送の可否を判断します。実質上、日本では比較広告はほとんどありません。しかし、海外では比較的自由度が高くなっています。

ガバナー補佐訪問卓話

R1第2760地区西名古屋分区
ガバナー補佐 近藤 雅夫さん



皆さんこんにちは、本年度西名古屋分区ガバナー補佐を仰せつかりました名古屋南RCの近藤雅夫です。本日はガバナー補佐訪問ということで、例会に先立って開催された会長・幹事さんとの懇談会を始め色々とお気遣い頂きました。ことまでもって御礼申し上げます。例会後には今年度の理事・役員・委員長の皆様ともクラブアセンブリが予定されていますので宜しくお願い致します。

名古屋大須RCさんに於かれましては、岡部バスターガバナー始め5名の方が地区の委員会に出向され地区運営に多大なご協力をいただいている事御礼申し上げます。また今年5月に開催された15・16年度地区研修・協議会の開催では、ホストクラブを引き受けて頂き改めて御礼を申し上げます。

さてますますガバナー補佐の役割をお話しして皆様のご理解をいただきたいと思っております。ガバナー補佐は英語で To Ass

「start Governor」で文字通り地区ガバナーの補佐をするわけですがこの地区2700地区は83クラブあってロータリアン数も本年1月で4,844人と日本で最大の地区でした。「つじだ」と過去形でお話したのは、この地区は長年会員数が日本で最大の地区でしたが今期のスタートでは残念ながら2番手になったようです。

2700地区を8つの分区に分けて私は西名古屋分区13RCを担当しています。ガバナー補佐の役割を調べてみます。

① 拍子クラブを定期的に訪問、少なくとも四半期に一度はクラブを訪問する。

② クラブの現状をガバナーに報告する。

③ ガバナー公式訪問に向けたクラブの準備を手伝う。

④ クラブ目標の達成状況を確認する。

等と書かれています。
ガバナー補佐はガバナーが率いる地区と担当のクラブのパイプ役でありますが、言い方を交えて「中間管理職」的な役割ですので、地区への要望などを気楽に接して頂ければ結構かと思えます。

冒頭から申し訳ありませんが、中間管理職の役割として地区からお願いがあります。10月24、25日に栄・久屋大通り公園で第3回目となりますワールドフード+ふれ愛フェスタが開催されます。昨年までは3日間の開催でしたが

今年度は土曜、日曜日の2日間となります。

まず皆さんにお願いしたいのはチケットの購入です。一枚2,000円でうち4000円がチャリティとなりりますが、お一人2枚以上お買い上げという場合は、名古屋大須RCさんは8名弱の会員なので全体で120枚程度を期待する次第です。併せて企業の協賛広告もお願いして欲しいとのこと。申込書は地区より既にクラブ事務局に送付されていますので宜しくお願いします。最終日の10月25日はロータリー・シヤパンデーとなりますので是非とも皆さんのご参加をお願いします。

今年度のこの地区のガバナーは加藤陽一さんと、瀬戸RCの方です。1944年のお生まれで、ロータリーの入会は1996年ということですが、ガバナーになられる方ですから、ロータリーの知識や情熱はどのロータリアンにも負けないものをお持ちですが、何よりも気さくな人柄で大変温かみのあるガバナーであります。ガバナー補佐は中間管理職と申し上げましたが、一般的に言って中間管理職は無理難題を言いつ上司と、言いつことを聞かない部下との板挟みで悲哀を味わうのがイメージですが、私の場合には加藤ガバナーという大変良い上司に恵まれ、担当のクラブも紳士ばかりで、非常にハッピーな補佐だと喜んでいきます。

今年度加藤ガバナーが掲げられ

た地区方針は「ロータリーの原点に学び、サブタイトルとして友情と寛容の輪を掛けよう」というものです。地区の具体的な行動指針として、

① 高潔なロータリアンを目指し、常にパッシブを善用する。

② 例会に積極的に出席し、ロータリー活動を楽しむ。

③ 自主的クラブの運営。

④ 会員増強・退会防止。

⑤ 地区の改善・改革。

の5点を言われています。詳しいお話は、8月24日のガバナー公式訪問時に加藤ガバナーから直接その思いをお聞きいただきたいと思

います。

今年度のR-会長はスリランカのK.R.ニンドラフンという方で、今年度のテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。

強調事項としては、

① ポリオ撲滅。

② 人道的奉仕を高める。

③ ロータリーのイメージと認識を高める。

④ オンラインツールの利用。

といったものです。私の個人的な感想ですが、R-会長のテーマを受けて、敢えてもう一度ロータリーの原点が何かを皆で考えよう、という地区テーマを出された加藤ガバナーのロータリーに対する思いと申しますか、危機感があらわされていると思っています。地区の会議で加藤ガバナーが特に強調され

るのは、「ロータリアンによって例会出席がすべての原点であり、例会に出席する事でロータリー活動を楽しむ」と、「ロータリーの基本は一つ一つのクラブであってクラブが自主的な活動を行うために地区があり、Rがある」という事です。

私は今年度ロータリーの在籍が29年目に入りますが、入会したころに比べるとロータリーも随分変わって来たなという感じがしています。入会当時先輩のロータリアンから繰り返し聞かされたのは、出席は100%が基本で例会に出られなければ必ず他のクラブでメーキャップをする。ロータリーの奉仕は職業を通じて社会に貢献する事で個人一人一人の奉仕の精神が基本といった事等々、今思えばロータリーの原理のよきなものを聞かされてきました。

話は変わりますが、皆さん俳句の用語で「不易流行」という言葉をご存じだと思います。「不易」とは伝統的に変わらないもの、「流行」とはその時々変化の事で、松尾芭蕉が俳句に取り入れてこの「不易」と「流行」が同時にあるものだという事だということです。

ロータリーに於いてもずっと継承して行かなければならないものがある一方で、その時々々の社会情勢の変化に対応していくという両面があるのではないのでしょうか？そこで、ロータリーにおける「不易流行」は何か、私なりに考えてみ

ました。

「承知のようにロータリーの目的として第一に「知り合いを広める事によって奉仕の機会とする」第二に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアンの各自の職業を高潔なものにする」第三に「ロータリアン一人一人が、個人としてまた事業及び社会生活において奉仕の理念を實踐する」第四に「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進する」の4つの項目が掲げられていて、それを實現するための活動としてクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕と国際奉仕が四大奉仕として位置付けられています。

この4つの目的の中で、まず「不易流行」の「流行」つまりその時々々の社会情勢の変化に対応していく部分としては、対外奉仕活動である社会奉仕と国際奉仕の分野ではないかと思えます。

ロータリーの創立者であるポール・ハリスの言葉に「ロータリーが可能性を實踐する為には、常に変化し、場合によっては大きな変化をしなければならぬ」という言葉があります。対外的な奉仕活動である社会奉仕と国際奉仕は、時代の変化の中でその時々々に社会から要求、或いは期待される奉仕活動が変わって行きます。ロータリーが社会の変化の中で、変わっ

て行かなければならない、あるいは変わらざるを得ない「流行」の部分はこの二つの奉仕分野ではないかと思えます。会員歴の長いロータリアンの方が最近のロータリーは随分変わってしまったと言われているのを時々耳にしますが、このように考えれば、ローが対外奉仕活動に於いて従来と方針が変わり、団体にのみ奉仕、継続的奉仕プロジェクトを推進している現状に一定の理解が得られるのではないかと。

一方で、「不易流行」の「不易」の部分つまりロータリーがロータリーである為が変わってはいけない部分はどこかと申しますと、言うまでもなく残りの二つの奉仕活動即ちクラブ奉仕と職業奉仕の部分こそロータリーの変わらぬ原理があると思っております。

「承知のように、1905年にロータリークラブが設立されたときは親睦と会員同志の相互扶助を目的としたクラブで、奉仕の概念は後から出てきたものです。クラブ内の親睦がしっかりと確立されて始めて他の奉仕活動ができるのであって、親睦の基本はクラブまでもなく例会への出席と、一業種一会員という原則にあります。一業種一会員という職業分類の制約は現在では大幅に緩和されていますが、今でもその精神は生きています。私も思っています。加藤カバナーが地区の行動指針として、例会への積極的な出席を強調されるのも、例

会に出席してロータリー活動を楽しまし、ここで会員同志の親睦が深まると考えておられるからだと思います。

更にロータリーが他の奉仕団体と全く異なるのは職業奉仕としての理念を持っていて、会員の職業に高い倫理観を求めていることです。ロータリアンは自らの職業における倫理基準を高め、職業を通じて社会に貢献することが求められています。ロータリーに於いて変えてはならない「不易」の部分とは、会員同志の親睦と会員の職業における倫理観を高めようとする、つまりこの二つの奉仕分野にあって、この二つの奉仕は今後も変わらぬロータリーの根幹といえる原理だと私は考えております。

ロータリーの本質である会員同志の親睦であるクラブ奉仕と会員の職業における倫理観を高める職業奉仕の「不易」の部分忘れて、対外的な奉仕活動の「流行」だけを追いかけると、ロータリークラブは世の中にたくさん存在する奉仕団体と変わらぬ、単に規模の大きい奉仕団体と同じになってしまつてはならないでしょうか？

ローが世界のロータリークラブの力を結集して団体奉仕活動に力を入れる現状であるが故に、私も個々のロータリアンとして一つのクラブはロータリーの原点である例会への出席と会員同志の親睦、そして職業奉仕の理念をも

う一度確認する必要があるのではないではないかと思っております。

加藤カバナーの「ロータリーの原点に学ぶ」とした地区テーマは変わりつつあるロータリーの現状への警鐘であり、一人一人のロータリアンへの呼びかけであると私は受け止めています。

加藤カバナーは地区方針の中で例会への積極的出席を強調されていますが、できる限りホームクラブへの出席が重要なことは言うまでもありませんが、それはいつでも仕事が終わってこそそのロータリーですから現役で仕事をされている方にとってはホームクラブへの出席はなかなか思つたようにはいかないときもあるかと思つています。最近ではサイン・メーキャップができる他クラブのリストが配布されている大変便利にはなっています。

サイン・メーキャップは確かに便利ではありますが、メーキャップの場合できるだけ他クラブの例会に出席されることをお勧めします。というのは、ロータリークラブはローが定めた標準定款と推奨細則の下、全世界で同じルールで運営されているからです。しかしながら、そこは人間が運営・管理する組織ですから例会の進め方とか雰囲気は夫々違いが出てきます。他クラブの例会に出席してみると、自分のクラブとの比較が出来たり、面白い経験が出来たりします。

私の商売は全国の百貨店でお菓

子の販売をする仕事なので、クラブの例会日である水曜日には出張で不在が多く、若いころはメーキャップばかりの不良会員でした。当時のメーキャップは前後一週間以内というルールでしたので、名古屋市内はもちろんの事、出張先の東京、大阪はじめ全国各地のクラブでメーキャップをしていました。

また海外出張の時も頑張つて時間を作り現地のロータリークラブでのメーキャップを致しました。時には何故こんなに苦労してメーキャップするのか疑問に思ったこともありました。特に海外でのメーキャップは楽しい思い出となっています。何処へ行ってもロータリーのバッジ海外ではデーンと言います。付けていけば初対面であっても仲間として歓迎をしてくれます。

思い出しに残るメーキャップは初めて海外のクラブを訪問した時、それはNY郊外の小さなクラブでした。1998年頃の話で、インターネットもなく事前に調べた例会場を突然訪問しました。

部屋へ案内されてこれはやばいと思つたのは、会議室の小さな小部屋にテーブルがあって周りに椅子が8脚だけ並べられていました。聞けば会員数が10数人のクラブでロータリーと言えは数十人から百人程度と聞いていたのでそんな少人数クラブがあると思つていませんでした。慌てて帰つたとき、胸の

ロータリーバッジを見て何処から来たのか？と聞かれたので、日本からメーキャップに来たといつてびつくりされてそれから大歓迎されました。当日の卓話者は近隣のクラブのロータリアンで、形式ばつた例会というより卓話者を囲んだ情報交換会のような例会で、日本の業界事情を聞かれるなど本当に楽しいメーキャップでした。

面白かつたのは、「ポックス」で参加者が数ドルついで出合つてあみだくじで当たりくじを引いた一人が半分を取り、残りを「ポックス」にしてみました。またある時は、訪ねて行った例会場のリストランへ行ったら、昨年までここで開催していたが、今年はどこか他へ移つたと言われました。ロータリーは初期の例会場をRotary and the Rotary Club of...

ですが、そのクラブでは毎年例会場を変えているとのことでした。現在ではインターネットで検索して、事前に幹事さんに来訪を連絡しておけばこうした間違いもなくスムーズに海外でのメーキャップが出来ます。

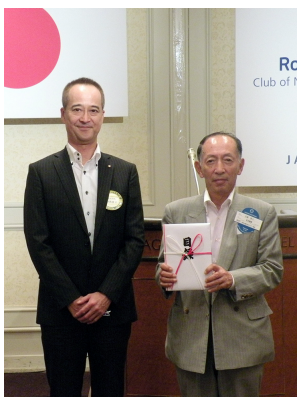
国内のメーキャップで面白かつたのは、ある関西のクラブでメーキャップした時のことです。立派なシティーホテルが会場で、それなりのビジターフィーだったので、あまりに質素な食事隣の会員さんについてこんな食事ですかと尋ねました。その会員さんが、にやにやしながらあなたは運が悪

いって説明してくれたのは、そのクラブでは4回の例会の内一回の食事をうんと粗末にして、残りの3回を豪華にしており、今日はその一回の粗食の例会だと言われました。皆さんも機会があれば色々なクラブへ出向いてメーカーキップをしていただくと面白い経験ができると思います。

本日は「不易流行」として乱暴な切り口でロータリー活動を分析しましたが、色々な意見があるかと思えます。私もロータリー在籍が29年目で年齢も高めて「老タリアン」になろうとありますので、オールド・ロータリアンの戯言としてこうした意見もあると取りただければ結構かと思えます。

最後になりますが、名古屋大須RCさんに於かれましては田崎会長のご指導の下、充実したロータリー年度なることを祈念して講話を終わらせていただきます。
「清聴ありがとうございました。」

目録贈呈



ガバナー補佐訪問を記念して、目録を贈呈しました。

- ・R財団へ特別寄付 20万円
 - ・米山聖学会へ特別寄付 10万円
- その他・お知らせ**

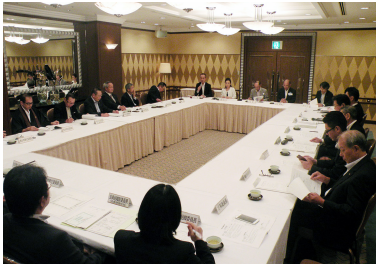
会長幹事懇談会

同日11時30分より、近藤雅夫ガバナー補佐、加藤定江地区スタッフ、浦野



廣高分区副幹事をお迎えして会長幹事懇談会が開かれました。クラブ運営について貴重なご意見を頂きました。

クラブ協議会(アッセンブリー)



例会後には、ガバナー補佐、地区スタッフ、分区副幹事をお迎えしてクラブアッセンブリーが開催されました。

派遣青少年交換学生帰国・出発

青年奉仕委員長 川畑 博敬
派遣青少年交換学生の伊藤 彩



ブラジルのサンパウロへ旅立って行きました。1年間充実した留學生活を送られるよう、クラブ全員で応援して行きますよう。
送迎に集まって下さいました、当クラブ会員・ご家族の皆様を始め、地区青少年交換委員会ミカエル・カルマンさんありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

香さんが、7月23日(木)1年の留学を無事に終え、アメリカ帰国しました。帰国報告は8月6日例会にて予定されています。7月28日(火)には本年度派遣青少年交換学生、渡辺玄君が中部国際空港セントレアより、



2015.7.28 E-mail from Mauritanie

名古屋大須RCの皆さま
2760地区の皆さま、日本のロータリーの皆さま、ご関係者さま
いつも一斉メールで失礼いたします。お元気ですか？
私は離任を前に大変忙しくしております！！
日本への到着日が決定いたしました！8月1日の午後、名古屋着です。モーリタニアを7月30日の木曜日、恐ろしいことにしあさって…に出発します。
日本では、今のところ、8月1日・2日は名古屋、3日から6日までが東京、7日は名古屋、8日に東京に移動して、ノースキャロライナへ向けての出発は8月9日になりました。8月9日にコンゴ民主共和国から帰国する友人と成田空港でおそらくあつて、お昼ごろに成田から出発となりました。
アメリカでのオリエンテーションの予定が早まったため、モーリタニアでの仕事も8月3日に契約終了のところ、有休を使って数日早く出させてもらうことにし、8月9日の深夜にアメリカについて10日の午後オリエンテーションです！
またしても短い期間ですが、日本で皆さまにお会いできるのを楽しみにしています！どうぞよろしくお願ひいたします。

澤屋 奈津子



奄美RC(福永健一さん)より

毎年名古屋へお越しの際、当クラブの例会へヒジターとして参加下さる、奄美RC 福永健一さんより、奄美大島の「パッションフルーツ」が届きました。

珍しい夏の果物をお贈り下さり、ありがとうございます。ありがとうございました。



8月13日(木) 例会の案内
定款規定により休会

事務局夏期休暇
8月11日(火)～14日(金)

8月20日(木) 例会の案内
例会変更 同日

納涼夜間例会
於 若宮の杜 迎賓館

受付17時30分 例会18時00分

広報委員会 前田 隆久
大澤 伸悟・杉浦 令淑
*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。